

常磐大学の社会貢献を高く評価

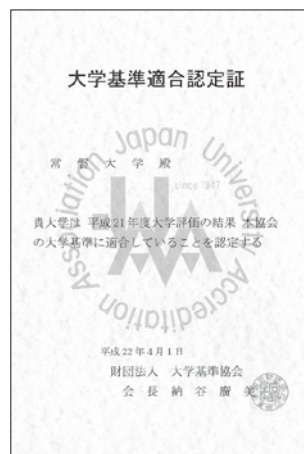
財団法人大学基準協会が大学基準への適合を認定

▼社会貢献の成果等を評価されたほかにも、自然の景観を最大限に生かした自然環境に恵まれたキャンパスも評価された。



常磐大学は、財団法人大学基準協会が実施する大学評価(認証評価)において、同協会の大学基準に適合していると認定された。大学基準協会とは認証評価機関として文部科学大臣の認証を受けている法人で、「会員(校)の自主的努力と相互的援助によってわが国における大学の質的向上をはかる」ことを設立の目的に掲げている。常磐大学は2009年1月7日に大学評価を申請し、2010年3月12日開催の同協会評議員会、臨時理事会で正式に評価結果の承認を受けた。この評価の有効期間は、2010年4月1日より2017年3月31日までとなる。

総評では東京芝浦のサテライト・キャンパスの設置や各学部の教育内容、「大学院の特徴として」の被害者学研究科、さらに地域連携センターや国際被害者学研究所などの設置による、積極的な地域連携活動を高く評価。その中でも国際被害者学研究所の活動を「中央官庁や茨城県などにおける被害者支援策などのさまざまな検討会に教員を派遣し、政策形成に寄与している



▲財団法人大学基準協会の7年間有効となる認定マーク。
 ◀常磐大学に交付の大学基準適合認定証。

ほか、JICAの受託事業として、発展途上国の被害者施策を担う専門家の育成をサポートするなど、政策形成への貢献が国際的規模に及んでいる」と賞賛したほか、コミュニティ振興学部の活動に関して「デジタル・アーキビスト養成のためのカリキュラム開発を他大学とともに取り組み、2006年度に養成講座を開設した」ことを長所として評価。今回の認定は、これら一連の社会貢献が重要なポイントとなった。

アジアの大学2校と学術文化交流を図る

● 韓国・台湾の大学と連携協力協定を締結

世界的な視野を持つ人材の育成を目指す常磐大学は、3月23日に国立韓国伝統文化学校と、3月25日に国立台北教育大学と連携協力協定を結び、それぞれ調印式を行った。目的は、学術文化交流に向けて、両校の発展に寄与する資源共有・相互貢献・友好的協力の精神に基づき、教育・研究および教員研修における長期協力関係を確立すること。これにより、教員と学生による相互訪問、教育・学習・研究に携わる教員および学生のための短期交換プログラムなどが、今後実施される。



▲調印式に出席した国立韓国伝統文化学校総長の裴基同氏(右)と、常磐大学の高木勇夫学長(左)。

この連携協力協定に基づき、国立台北教育大学などが主催する「博物館国際会議 2010」に、常磐大学も共催として参加した。この国際会議は、台湾台北市内の国立台北教育大学で5月17日から19日まで開催され、テーマは「21世紀における博物館の優先順位、価値、目的」。社会環境の変革期における博物館のあり方を、再度見直す機会を提供することが目的だ。期間中は博物館従事者、研究者、学生などが、博物館の存在意義や、今日的課題などについて活発に議論、博物館を国際的に検討する貴重な3日間となった。



▲調印式に出席した国立台北教育大学教授の林詠能氏(右)と、常磐大学の高木勇夫学長(左)。

プロサッカーチームと協力し地域活性化の事業を展開

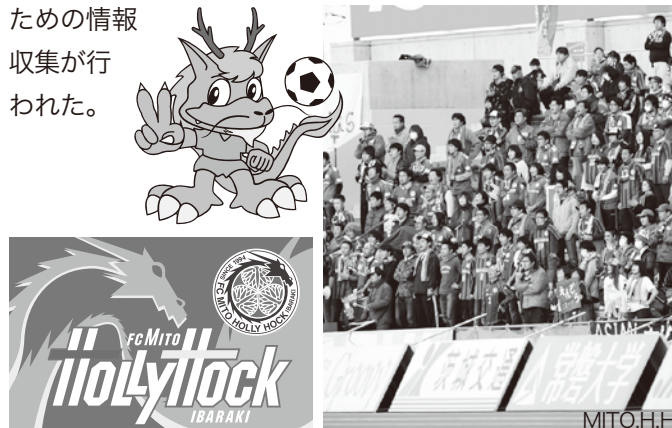
● 水戸ホーリーホックと連携協力協定を締結

学校法人常磐大学は、株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホックと連携協力協定を結び、2月23日に締結式を行った。水戸ホーリーホックは、「地域に支えられ、地域と共に歩み、地域に貢献してゆく」を理念とするJリーグに加盟するプロサッカークラブ。この理念に則りさまざまな地域貢献に取り組む水戸ホーリーホックと連携協力することで、地域社会の活性化および両者の発展的な事業を推進することが目的だ。相互の特性を生かした連携事業では、新たな教育場面の創出など、学生への還元も期待できる。



▲ヒアリング調査を行う国際学部経営学科の学生(中央)。この日の試合はNHKの番組と連携しており取材スタッフが訪れていた(左)。

この協定の一環として常磐大学は、水戸ホーリーホックが展開する「水戸ブルー 夢をかたちにプロジェクト」に協力している。このプロジェクトはホーリーホックのホームスタジアムへの観客を増やし、そのにぎわいを地域の活力に結びつけることを目的にしている。常磐大学からは国際学部経営学科の文堂弘之准教授と村中均助教が特別アドバイザーとして参加し、集客につながるイベント企画などを提案している。4月17日のホーム試合では常磐大学の学生による観客のヒアリング調査も実施され、施策を検討するための情報収集が行われた。



▲水戸ホーリーホックは平均入場者数がリーグ最下位と低迷しており、このプロジェクトでそのポジションからの脱却を目指している。

コミュニティ振興学部のゼミナール活動 茨城町への学生政策提言発表会 食育・まちづくりについて

コミュニティ振興学部・砂金祐年専任講師が担当するゼミナールの学生による「学生政策提言発表会」が、1月15日に茨城町総合福祉センターゆうゆう館で行われた。この発表会は常磐大学と連携協力協定を結ぶ茨城町の協力のもと行われ、7名の学生たちが「街の魅力発掘」と「地産地消と食育について」の2つのテーマでプレゼンテーションを行った。会場に集まったのは茨城町の行政団体や、星勝美・副町長(当時)をはじめとする茨城町職員の方々など約80名。学生のアイデアをまちづくりの参考にしようと、提言に聞き入っていた。



ときわキャンパスレポート

TOKIWA
campus
report.

心理臨床センター主催・公開講演会 ストレス社会を生きるために 心の生活習慣病を考える



「心」についての理解を深める常磐大学心理臨床センター主催の第8回公開講演会が3月27日に開催された。今回講師としてお招きしたのは、駿河台大学心理学部教授で、米国クリニカル・サイコロジストの資格を持つ臨床心理士の堀越勝氏。「ストレス社会をいかに生きるか～“こころの生活習慣病”との向き合い方～」というタイトルで、現代人の生活習慣が引き起こす心の病について講演が行われた。講演ではうつ病などに陥る心のメカニズムから、それを防止するための対処法などが解説され、150名近い受講者たちは熱心に耳を傾けていた。

開学100周年記念講演会 日米両国の民主党政権を 鋭い視線で評論

第2回学校法人常磐大学開学100周年記念講演会が3月13日に開催された。講演者としてお招きしたのは学校法人常磐大学顧問でコロンビア大学政治学教授のジェラルド・カーティス(Gerald.L.Curtis)氏。「日米両国民主党政権の“成績表”」というタイトルで、政権交代を果たした両国の政権運営に関する講演を行った。ジェラルド・カーティス氏は、40数年前から日本とアメリカを行き来し、研究を重ねてきた日本政治学の第一人者である。世界的な視野で語られたカーティス氏の講演は、非常に興味深いものとなった。(関連5面)



常磐大学

News!



大学での自由な時間を有効に使い
将来に役立てたい

中村 達大
人間科学部 心理学科 1年

社会問題化する心の健康に興味を持ち、心理学科のある常磐大学に入学しました。大学での授業は受験を意識した高校とは違い、好きな学問を追究できるので本当に楽しいです。キャンパスの雰囲気も自由で明るく、とても気に入りました。大学の学生生活は、自分の自由になる時間を多く持つことができます。その時間を無駄にせず、自分の将来に役立つ資格の取得等に使いたいですね。勉強に頑張ることはもちろん、就職活動も考えた充実した4年間にしたいと思っています。

常磐短期大学

News!



自分の将来に直結した
専門的な授業で
幼稚園教諭を目指したい

鈴木 千尋
幼児教育保育学科 1年

通っていた幼稚園の先生に憧れて、自分もそんな先生になりたいと思い、幼児教育保育学科に入学しました。この学科では、幼稚園教諭と保育士の資格取得を目標としているので、勉強は大変です。でも、どの科目も自分の将来と直結しているので、積極的に興味を持って楽しく授業を受けることができます。授業では、これまで自分が考えていた子どもの定義や遊びの役割などを覆されることも多く、毎日が新しい発見です。これから、さまざまなことを学んでいきたいと思っています。

常磐大学高等学校

News!



自分の気持ちを積極的に友人に伝え
思い出を作りたい

平賀 樹奈
常磐大学高等学校 1年1組

高校生活にも慣れ、徐々に友だちもできてきました。先生方も個性的な方が多く、毎日、楽しく授業を受けています。好きな教科は英語。いまは英検3級を取得しているので、秋には準2級に挑戦しようと思っています。高校生活の抱負は、何事にも積極的に取り組みクラスの中心になること。私は自分の意思を表現するのが苦手なので、国語力を付けて気持ちを伝えられるようになりたいです。そしてクラスメートと仲良くなり、思い出をたくさん作りたいと思っています。

智学館中等教育学校

News!



勉強と運動を両立させ
6年間を有意義に
過ごしたい

門野 日花
智学館中等教育学校 1年次1組

私はマイペースな性格なので、中学、高校の勉強を一貫して6年間で学べる智学館に入学しました。授業は小学校とは違い、教科ごとに専門の先生が教えてくれるのでとても分かりやすく感じています。先輩たちも優しく話しかけてくれるので、学校にとけ込みやすく、とても明るい雰囲気です。小学校には部活動がなかったので、智学館ではバレーボール部に入りました。これからは勉強と運動を両立させて、この6年間を友だちと楽しく過ごしたいと思っています。

常磐大学 幼稚園

News!

真新しい制服に身を包んだ園児たちが入園

4月9日に常磐大学幼稚園内の遊戯室で入園式が挙行政され、3年保育41名、2年保育6名の園児を迎えた。竹中治利園長は、挨拶の中で保護者に対し、「あなたがいるから幸せなのだということを子どもに伝えてください」と話した。また、年長組の園児からは「幼稚園には楽しいことがいっぱいあるよ。みんなで一緒に遊びましょう」とお祝いの言葉が述べられた。式の途中には、幼稚園の教諭らによる歌が披露され、会場は和やかな雰囲気に包まれた。



Tokiwa Interview

第2回 学校法人常磐大学 開学100周年記念講演会(2010年3月13日開催)より

日米両国 民主党の『成績表』

ジェラルド・カーティス氏

(学校法人常磐大学顧問)

政治的にも経済的にも多くの問題を抱える日本とアメリカ。両国民は現状を打開するべく、政権交代の道を選択した。オバマ政権が発足して1年数ヶ月、鳩山政権が発足して約半年。日米両国の民主党は国を良い方向に導いているのだろうか。そこで今回は、コロンビア大学教授で日本政治研究の第一人者であるジェラルド・カーティス先生にお話を伺った。

「これは両国の民主党政権について言えることですが、政権交代時の期待が失望に変わりつつあります。その原因の一つは、日本ではマニフェストと呼ばれる選挙公約にあると思います。アメリカのオバマ氏は重要な選挙公約の一つとして公的な医療保険制度の法制化を掲げていました。確かにアメリカの医療保険は充分ではなく、多くの国民がこの政策に賛成したことは事実です。しかし、それは1年以上も前のこと。景気が一向に回復する兆しがなく失業者も増えている現在、最優先させる政策ではなくなっています。つまり、プライオリティー(優先順位)が間違っていると国民は思っているのです。これは、日本の鳩山政権も同じです。マニフェストとは実行する政策の方向性を示すもので、実情と照らし合わせて中身を修正するのは当たり前です。いま話題となっている『子ども手当』や『高校無償化』も、まだ議論の余地があると私は考えています」

それでは、現在の日本とアメリカで最優先されるべき政策とは何なのだろう。

「アメリカは失業問題、そして日本は増え続ける財政赤字の問題ではないでしょうか。特に日本の財政赤字は深刻です。このままでは、近い将来破綻する可能性もあります。ですから、税の問題を避けては通れません。より多くの福祉を受けたいのであれば、それに見合った税金を納める必要があることを政治家は国民に説明し、説得しなければなりません。

若者たちが将来に夢や希望を持てる社会の構築を

日本国民は、スウェーデン並みの福祉か、アメリカ並みの税金かを選ばなければならないのです」

スウェーデンのような高福祉を享受したいのなら、税負担の増加はやむを得ないということだ。

「また、外交では中国の台頭を見逃すわけには行きません。中国は、経済、軍事、政治のすべての分野で大国になろうとしています。もちろん日本もアメリカも、貿易の面に於いて中国と良い関係を保つことが重要です。しかし、軍事バランスをとることを忘れてはいけません。そのためには、日米の協力が必要です。アメリカが決めて日本が従うのではなく、イコールパートナーとして話し合う時代が来ています。沖縄の基地問題を早く解決して、21世紀にふさわしい日米関係を構築しなければなりません」

そして何より、いまの日本に必要なのは、若者に夢や希望を与えることだとカーティス先生は言う。

「私が教えているコロンビア大学では、日本からの留学生が減少しています。これは若者が将来を悲観し、内向きになっている表れではないでしょうか。フランスの哲学者の言葉に『悲観は感情で、楽観は意志である』というものがあります。まさに、いまの日本に必要なのは意志的に楽観することです。政治家が教育問題や日米関係と正面から向き合い、意志的な楽観を持ってビジョンを示すことができれば、希望の持てる社会を築くことができます」

船出したばかりの民主党政権が新たな舵を切ったとき、また、カーティス先生にお話を伺いたい。



ジェラルド・カーティス (Gerald L. Curtis) ● コロンビア大学政治学教授、東京財団特別研究員、学校法人常磐大学顧問。コロンビア大学政治学博士課程修了 (Ph.D.)。コロンビア大学東アジア研究所長、同教授、政策大学院大学客員教授を歴任。主な著書に『永田町政治の興亡』、『日本型政治の本質』、『代議士の誕生』など。

景気は緩やかに回復し始めており、一部業種では2009年度の大幅な新卒採用抑制の反動による採用増加もあるが、2010年度主要企業の新卒採用計画は2009年度に続き全体的に抑制傾向にある。1社あたりの採用数では2008年度採用数の約7割にとどまっているようだ。このため、学生にとって今年度も就職環境は厳しい状況になるものと考えられる。

常磐大学・常磐短期大学キャリア支援担当では、このような今日の就職事情に対応した様々な支援プログラムを用意して学生の就職をサポートしている。低学年向けキャリアデザイン講座、各種就職対策セミナーや学内会社説明会、就職カウンセラーによるカウンセリングの開催は勿論、学生それぞれの志望や個性を十分尊重した指導をモットーにあらゆる相談に応じている。

● 2009年度就職状況

2009年度の就職率は大学が80.1%、短期大学が92.7%であった。世界的な金融危機を契機とした景気低迷を背景に、企業が新卒採用を一転して抑制方針としたことから、2009年度の新卒就職率は、全国的に就職氷河期と言われた2000年度より厳しい結果となった。常磐大学・常磐短期大学においては過去の氷河期の水準は上回ったものの、前年度を下回る結果となった。しかし、一般企業が採用を抑制する一方で、これからは成長が見込まれる福祉や幼児教育の関係業界では引き続き採用意欲が強く、これらの業界を目指した学生の就職状況は良好であった。特に、短期大学の幼児教育保育学科は5年連続で100%の就職率を達成した。

常磐大学 2009年度卒業生 就職者数 (2010年3月31日現在/単位:人)

学部学科名		卒業生	就職希望者	就職者	就職率 (%)
人間科学部	心理教育学科	108	84	68	81.0
	現代社会学科	65	61	44	72.1
	コミュニケーション学科	77	70	51	72.9
	計	250	215	163	75.8
国際学部	国際関係学 国際協力学専攻	24	17	12	70.6
	国際関係学 国際ビジネス学専攻	31	29	25	86.2
	英米語学科	41	36	29	80.6
	計	96	82	66	80.5
コミュニティ振興学部	コミュニティ文化学科	50	47	35	74.5
	地域政策学科	34	30	28	93.3
	ヒューマンサービス学科	66	64	59	92.2
	計	150	141	122	86.5
合計		496	438	351	80.1

常磐短期大学 2009年度卒業生 就職者数

学科名	卒業生	就職希望者	就職者	就職率 (%)
キャリア教養学科	144	139	119	85.6
幼児教育保育学科	136	134	134	100.0
合計	280	273	253	92.7

2009年度主な就職先

業種	企業名称
製造業	日立アプライアンス株式会社
	日立化成工業株式会社
	株式会社三陽商会(バーバリー)
情報通信業	東日本電信電話株式会社(NTT東日本)
	株式会社茨城計算センター
運輸・郵便業	東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)
	ヤマト運輸株式会社
	佐川急便株式会社
卸売・小売業	株式会社JR東日本リテールネット
	茨城トヨタ自動車株式会社
	株式会社カスミ
	株式会社ケースホールディングス
	富士ゼロックス茨城株式会社
	株式会社マツモトキヨシ
金融・保険業	三国コカ・コーラボトリング株式会社
	株式会社常陽銀行
	株式会社筑波銀行
	茨城県信用組合
	水戸信用金庫
	中央労働金庫
	茨城県農業信用基金協会

業種	企業名称
金融・保険業	水戸証券株式会社
	東京海上日動火災保険株式会社
	日本生命保険相互会社
	明治安田生命保険相互会社
サービス業	株式会社伊勢基本社
	新幹線メンテナンス東海株式会社
	株式会社日本レストランエンタプライズ
	水戸商工会議所
医療・福祉	水戸協同病院
	北水会グループ
複合サービス事業	日本郵政グループ
	水戸農業協同組合(JA水戸)
地方公務	茨城県警察本部
	ひたちなか市役所
	行方市役所
	高萩市役所
	桜川市役所
	城里町役場
	筑西市役所
	いわき市役所
相馬市役所	

学校法人常磐大学 2010年度役員等一覧

(2010年6月1日現在)

理事長	諸澤 英道	常磐大学大学院人間科学研究科教授、元同大学長	
顧問	阿部 充夫	(財)放送大学教育振興会会長、元文部事務次官	
	Gerald, L. Curtis	コロンビア大学教授	
	中西 元男	(株)PAOS 代表取締役社長	
理事	Hans J. Marx	(学)南山学園理事長、南山大学附属小学校長、前南山大学長	
	関 正夫	関彰商事(株)代表取締役会長、(学)慶應義塾評議員	
	渥美 東洋	京都産業大学法科大学院法務研究科教授、中央大学名誉教授、元(学)中央大学理事	
常任理事	宮田 武雄	茨城県立産業技術短期大学校長、元茨城大学長、同大学名誉教授	
	佐久間 正祥	水戸赤十字病院長	
	高橋 潤二郎	アカデミーヒルズ顧問、森ビル(株)特別顧問、慶應義塾大学名誉教授	
	諸澤 英道	常磐大学大学院人間科学研究科教授、元同大学長	
	高木 勇夫	常磐大学長・常磐短期大学長	
	小櫃 重秀	(学)常磐大学事務職員	
	諸澤 篤子	常磐大学教育実践研究所長、元上智大学講師	
	竹中 治利	常磐大学幼稚園長、元常磐短期大学教授、元同短期大学副学長	
監事	森 征一	慶應義塾大学名誉教授、元(学)慶應義塾常任理事	
	荒川 誠司	弁護士、荒川法律事務所	
評議員	若山 実	税理士、若山実税理士事務所	
	立原 久	(財)ボーイスカウト茨城県連盟維持財団理事長、元(株)常陽銀行常務取締役	
	村田 幸子	元NHK解説委員	
	宮田 武雄	茨城県立産業技術短期大学校長、元茨城大学長、同大学名誉教授	
	佐久間 正祥	水戸赤十字病院長	
	石渡 千恵子	石渡産婦人科病院副院長、元茨城県教育委員会委員長	
	高橋 潤二郎	アカデミーヒルズ顧問、森ビル(株)特別顧問、慶應義塾大学名誉教授	
	森 征一	(学)常磐大学常任理事、慶應義塾大学名誉教授、元(学)慶應義塾常任理事	
	師岡 文男	上智大学文学部教授	
	橋本 五郎	読売新聞特別編集委員	
	久保 文明	東京大学法学部教授	
	遠山 勤	(財)常陽地域研究センター理事長、元(株)常陽銀行代表取締役専務取締役	
	津田 葵	常磐大学国際学部教授	
	江波 諄子	常磐大学人間科学部教授	
	浅岡 廣一	常磐大学高等学校長	
	小田 卓爾	智学館中等教育学校長	
	竹中 治利	常磐大学幼稚園長	
	齊藤 久展	(学)常磐大学事務職員	
	池田 正則	常磐大学同窓会会長	
	中崎 啓子	常磐短期大学同窓会みわの会会長	
	住谷 里子	常磐大学高等学校常磐学園同窓会副会長	
	大録 匡行	常磐大学後援会会長	
	加藤木 正文	常磐短期大学父母の会会長	
	三村 勝則	常磐大学高等学校PTA会長	
	参与	藤村 和男	(財)教科書研究センター参与
		田中 茂範	慶應義塾大学環境情報学部教授、同大学大学院政策・メディア研究科委員
		栄 陽子	栄陽子留学研究所長
		左巻 健男	法政大学生命科学部環境応用化学科教授

入学定員と在籍者数

(2010年5月1日現在)

	入学定員	収容定員	在籍者数
常磐大学大学院			
人間科学研究科 博士課程(後期)	6	18	6
修士課程	10	20	15
被害者学研究科 修士課程	20	40	8
コミュニティ振興学研究科 修士課程	20	40	3
常磐大学人間科学部			
心理教育学科	-	130	105
心理学科	90	275	263
教育学科	40	122	128
現代社会学科	80	354	346
コミュニケーション学科	80	334	320
健康栄養学科	80	244	234
常磐大学国際学部			
国際関係学科	-	154	83
経営学科	70	214	235
英米語学科	60	249	167

	入学定員	収容定員	在籍者数
常磐大学コミュニティ振興学部			
コミュニティ文化学科	60	252	182
地域政策学科	60	252	215
ヒューマンサービス学科	80	336	237
常磐短期大学			
キャリア教養学科	140	280	293
幼児教育保育学科	140	280	272
常磐大学高等学校	600	1800	1127
智学館中等教育学校	120	360	192
常磐大学幼稚園	55	175	151

(単位：人)

開学100周年記念事業募金寄付者ご芳名

開学100周年記念事業募金へご寄付を賜り、誠にありがとうございました。

本学では、諸澤幸雄奨学金制度を創設し、その充実および継続的運営を目的に昨年11月から募金を開始しました。この間、多くの皆様方よりご寄付を賜りました。重ねて御礼申し上げます。

本学では、この制度をより充実させるため、引き続き募金の受付をして参ります。まだご賛同をいただいていない方におかれましては、ぜひとも募金の趣旨をご理解いただき、ご寄付を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

ここに2010年3月末までに、ご寄付を賜りました皆様のご芳名を掲載し、そのご厚志を顕彰させていただきます。

(ご芳名の掲載について)

1. 掲載の順番は、寄付金額ごと五十音順とし、敬称は省略させていただきます。
2. 掲載の内容は、ご寄付者のご希望によります。
3. 同一のご寄付者から頂戴した複数の寄付金は、合算計上とさせていただきます。
4. 同姓同名の場合、括弧内に居住地を掲載させていただきました。
5. 一定額の寄付金を継続して賜っているご寄付者は、(継続)と表記させていただきます。

(寄付金入金状況)

種別	区分	件数	金額(円)
諸澤幸雄奨学金の創設・充実	個人	828	49,737,326
	企業	89	5,390,000
	計	917	55,127,326
寄付講座への支援	企業	1	1,000,000
教育実践研究所の行う事業支援	個人	1	120,000
合計		919	56,247,326

■諸澤幸雄奨学金の創設・充実 (企業)

1,000,000円	株式会社 新栄電気通信工業	センター印刷 株式会社
株式会社 西山工務店	株式会社 水工エンジニアリング	株式会社 タナカ
500,000円	高橋商事 株式会社	有限会社 東栄ハウジングセンター
合名会社 坂本計理事務所	津久波工業 株式会社 水戸支店	栃木アンカー工業 株式会社
株式会社 西山工務店 西友会	株式会社 ティー・アイ・ディー	NASファシリティーデザイン室
200,000円	株式会社 テクニカルアート	日本板硝子関東販売 株式会社
株式会社 三上建築事務所	株式会社 天童木工 東京支店	株式会社 フジタビジネスマシンス
100,000円	東京センチュリーリース 株式会社 上野支店	有限会社 ワールドエイジェンシー
株式会社 アビック	株式会社 西尾家具工芸社	株式会社 ワタザイ
株式会社 アローコーポレーション	東日本電信電話 株式会社 茨城支店	10,000円
有限会社 大和田造園	株式会社 朋栄	アマノ 株式会社 水戸支店
株式会社 廣済堂	株式会社 萬道総業	有限会社 エーアンドアイ ダスキン・エコー
株式会社 コトブキ	ミナト防災通信工業 株式会社	偕楽園住宅センター
株式会社 シーエス	40,000円	有限会社 かねこ
東通産業 株式会社	株式会社 イズミ	株式会社 光和印刷
東邦厨房 株式会社	鈴木組	セコム 株式会社
富士ゼロックス茨城 株式会社	株式会社 鈴木工業所	セコムジャスティックス 株式会社
富士通 株式会社 茨城支店	株式会社 スチール櫻山	チキンヘッドカンパニー
株式会社 毎日コミュニケーションズ	30,000円	株式会社 東日本グリーンハウス
水戸ホーチキ 株式会社	株式会社 関東朝日広告社 茨城支店	有限会社 平井情報デザイン室
山三印刷 株式会社	株式会社 坂場商店	ご芳名のみ公表
50,000円	株式会社 柴建築設計事務所	有限会社 エビハラ技建
有限会社 赤坂電機工業所	株式会社 常陽クレジット	株式会社 工房結
茨城ケント販売 株式会社	SECエレベーター 株式会社	コクヨ北関東販売 株式会社
茨城トヨベツト 株式会社	匿名	東都計装 株式会社 水戸営業所
株式会社 栄美通信	株式会社 ディスコ	日本興亜損害保険 株式会社
大津空調	有限会社 文具のスノウ	有限会社 平戸木材店
株式会社 岡村製作所	株式会社 読売茨城広告社	フジタ 株式会社
おがわ商店	20,000円	株式会社 富士通エフサス
株式会社 カシワ	株式会社 あげぼの印刷社	株式会社 マルセ
川又書店 株式会社	有限会社 イリエ	谷津構造設計
有限会社 ケイオービルサービス	株式会社 ケーシーエス	リコー販売 株式会社 茨城支社
西連寺賢三事務所	有限会社 浩昭システム	
株式会社 酒寄造園	司法書士法人 新水戸事務所	

■諸澤幸雄奨学金の創設・充実（個人）

34,564,826 円	石田 博幸	安島 さた	小川 文子	小松崎 幸子
諸澤 英道	打越 ふみ	安島 敏彦	奥 祥子	小室 幸代
中原 經子	小野 和仁	阿部 千賀代	小澤 静枝	齋藤 幸一
金澤 典子	加藤木 正文	雨宮 美香	小野 きみえ	斉藤 実
1,010,000 円	菊池 尚	荒 宗俊	匿名	佐河 さなえ
野々村 かつ江	後藤 和彦	飯島 久	海後 知則	佐川 澄江
600,000 円	猿田 好江	飯塚 みち子	貝瀬 友子	佐久間 栄一
常磐大学	(継続) 竹中 治利	池田 和子	鹿嶋 幸枝	櫻井 裕土
2009年度卒業生一同	竹屋 佳奈	池田 光政	柏 道子	笹村 治子
500,000 円	龍田 康平	井坂 改永	柏崎 博	佐藤 三四子
大場 琴枝	(継続) 中村 和彦	井崎 すみ江	片岡 五百子	佐藤 真砂子
関 たま	長谷川 幸一	石井 邦一	片桐 スミ子	椎名 重雄
300,000 円	畠山 かほる	石井 憲子	勝村 民子	椎名 よし子
常磐短期大学	廣木 智子	石川 悦子	勝山 文久	篠原 幸子
2009年度卒業生一同	望月 節子	匿名	加藤 さかえ	島田 弘之
200,000 円	森谷 将輝	石川 忠雄	加藤 省之	庄司 幸子
荒田 玲子	守屋 典子	石川 裕美	加藤 怜子	正田 亘
130,000 円	20,000 円	石下 明充	加藤木 幸子	菅谷 政宏
稲葉 孝子	飯島 洋子	石崎 聡一郎	金子 明石	鈴木 かつ子
110,000 円	岩本 貴子	石田 薫	金子 麗子	鈴木 勝之
小林 三千代	梅原 ヒサ	石渡 千恵子	金指 美咲	鈴木 佳代子
白井 美代子	大里 登紀子	磯野 新一	上見 和子	匿名
100,000 円	加藤木 啓	市野塚 直人	上金 昭	鈴木 弘
秋葉 成子	上村 弘雄	出沢 波子	唐木 罔和	鈴木 眞彦
大津 とよ子	川崎 しげ	伊藤 有沙	川合 緑	鈴木 みつ江
楠 英子	川又 文江	伊藤 健明	川角 昌一	鈴木 美弥子
匿名	木村 浩	伊藤 真基	川又 亘	鈴木 安子
田中 東亜子	小林 千代子(東京)	稲川 照子	川村 隆	鈴木 よし
濱崎 武子	佐藤 麻由、美紀	稲田 さか江	菅野 明子	須藤 眞一
三宅 光一	鈴木 茂夫	稲葉 順子	菊池 和子	匿名
宮本 聡介	鈴木 裕士	井上 敏子	菊地 久美子	関田 哲司
90,000 円	滝川 美枝子	岩間 一平	菊地 眞一	関根 久美子
(継続) 江原 昌義	武田 祥平	岩間 きよ子	菊池 せつ	関橋 真理子
(継続) 宮田 雅史	中馬 麗子	岩間 芳郎	菊池 時子	染谷 彬大
60,000 円	堤 やへ	植田 さた子	菊地 ます	染谷 とく
池田 正則	中川 新治	牛山 敏子	菊池 洋子	高倉 紀久子
50,000 円	仲澤 雅子	内田 翼	杵嶋 幸子	高梨 ナナ
阿部 昌信	長田 和枝	榎戸 則子	木村 誠	高根 京子
井上 繁	平戸 邦明	匿名	久保田 江満子	高野 和良
岩本 慶子	福王 由紀子	江幡 重美	久保田 千江	高部 和子
岩本 寛	宮崎 静江	江原 宏子	倉持 一枝	高山 靖子
小田部 とよ子、清枝	室伏 健治	遠藤 朝男	栗田 晋一	滝田 晃子
川又 実千代	山寺 光子	大石 栄子	栗田 よね子	武 幸子
小松崎 ヒサ子	吉田 舞	大内 きみ	黒木 幹子	武田 京子
込山 進	15,000 円	大河 典子	郡司 千代乃	田代 彰義
佐久間 正祥	秋山 絹江	大久保 絹江	匿名	立原 とみ子
佐藤 幸子(千葉)	安藤 美智子	大崎 博訓	鴻巣 陽一	立原 久
瀧口 泰行	大久保 とみ	大岡 富美子	古賀 ノブ子	立原 文代
灘山 龍輔	(継続) 河野 公紀	大高 しつ江	小金沢 君代	田中 愛子
林 寛一	小林 静枝	大津 節子	小澤 治	田仲 勝子
宮内 典仁	関 布佐	大津 智洋	(継続) 小橋 恵子	千葉 壽美子
谷田部 明子	12,000 円	大貫 里子	小林 妙子	出店 涼志
山路 純子	椎名 英樹	大野 康則	小林 トキ工	遠矢 佳代子
横須賀 敬章	山崎 充	大森 和枝	小林 理子	戸部 照子
綿引 正人	10,000 円	大録 匡行	小林 理博	富田 和男
30,000 円	青木 保	岡崎 弘子	小林 貢	富山 つや子
朝野 莉英	秋山 八千代	岡崎 美紀	小松 哲郎	永井 敏子
安見 とみ	坏 恵子	岡本 順子	小松 美保	中垣内 よし枝

中崎 啓子	山寺 昭二	黒田 雪江	一木 功子	細淵 カツ
仲田 義夫	吉田 健司	小畑 貴子	桧山 美子	増田 昭夫
長沼 喜美代	吉田 ふさ子	合志 仁紹	平井 武夫	町田 はるみ
中原 勝治	吉田 三男	小崎 直子	平野 馨	武藤 澄子
中村 志帆里	吉成 和夫	MK	蛭田 典子	安井 佳代子
中村 督子	和久井 眞江	後藤 政子	匿名	柳原 優子
生田目 達子	渡邊 美行	小林 貴美	廣田 恭子	矢野 千代子
奈良 和重	6,000 円	小林 知恵	藤枝 ますみ	横田 栄子
奈良 佳子	(継続) 大槻 行徳	小林 ひさ子	古川 朋子	匿名
成田 俊夫	(継続) 関 敦央	小林 泰智	細貝 アツ子	和田 勤子
西 美恵子	原暢 宏	小室 寛	堀江 ゆかり	2,000 円
西野 一	5,000 円	近藤 有花	真家 豊子	井澤 満美子
根本 かう	会沢 富美子	近藤 佳世	前田 あさ子	岩崎 和子
延島 庸夫	匿名	榭 明美	前野 愛子	沖田 康子
野村 輝子	畑 忠雄	坂林 美香	松本 香代子	神永 孝
萩野谷 知子	匿名	相良 庸	水本 とも子	木村 奈穂子
橋本 廣子	雨澤 由希子	佐藤 幸子 (福島)	水柿 玲奈	鈴木 操子
橋本 政香	飯田 房子	佐藤 智栄	三林 あき子	田容
塙 淳美	飯塚 絹子	澤村 智之	宮本 みどり	(継続) 久松 雄大
早瀬 逸子	飯村 せい子	篠崎 雄	三代 英二	三浦 寛美
原戸 昭子	五十嵐 寿々	篠原 茂	武藤 厚子	1,000 円
匿名	池田 正信	柴田 好江	村上 秀勝	飯島 静江
檜山 清次	石川 潔子	清水 洋子	藻垣 栄子	畔野 あすか
平塚 佐智子	匿名	庄司 晋理	森田 浩司	大森 園子
平戸 敬子	牛尾 禮子	庄司 正美	森田 典子	久保田 富江
平野 泰子	打越 洋	助川 昌子	谷田部 拓司	鹿田 悠里
廣木 優三	内田 幸子	鈴木 あや子	谷田部 皓	清水 悠花
福田 としえ	内田 絢子	鈴木 セツ子	山崎 周子	俊野 里美
藤井 由美子	卜部 豊	関 あや子	山田 薫	西村 光子
藤江 善一郎	雲類鷲 光子	関 直恵	匿名	芳名のみの方
藤田 チヨ	江原 徳子	相馬 功	吉田 すず子	青木 知
藤中 恵	海老沢 幸子	園部 きく江	匿名	赤津 晴子
藤沼 綾子	海老原 裕美	藪部 美知	渡辺 廣子	秋元 照峰
二川 猛	大谷 典永	高塚 麻子	4,000 円	安達 佳子
星山 ひさえ	大津 貞子	高貴 一彦	(継続) 鈴木 辰一	阿部 記代子
本多 敦子	大貫 英次	立野 自子	3,000 円	阿部 正子
本多 美知子	大島 高子	田所 八千代	井川 せつ	阿部 幸和
前島 みち子	大部 禮子	田中 和子 (茨城)	石川 幸子	粟野 芳男
益子 勇	小島 春菜	田村 正代	石川 俊太郎	安斎 摂子
増山 美貴子	海後 久子	田山 美恵子	岩尾 千草	飯島 昇
松丸 令子	加賀 きみ子	土田 あいり	江田 容子	五十嵐 正子
松山 鉄男	鹿嶋 裕	坪井 直次	小浜 法子	石崎 律男
三澤 良洋	加藤木 文	寺田 彩	片野 秀樹	市川 雅寿
道川 秀子	加藤木 一枝	床井 弘祐	鴨川 和生	市毛 博文
南館 忠智	加藤木 美幸	常井 昌子	木下 たい子	出沼 貞子
宮田 うめ	門脇 翔	床井 康子	木村 芳子	伊藤 友子
宮本 みち子	匿名	中添 せい子	杉山 道子	稲見 和典
宮本 美智子	金子 克也	永田 喜久代	(継続) 清宮 一彦	(継続) 岩間 肇
村上 力雄	金子 節子	中田 フサ	高堰 友希	打越 義久
藻垣 則子	匿名	中野 明子	瀧原 妙子	内山 竹彦
安 文子	川又 さと	新堀 伸子	田村 悦子	宇野 邦子
安 壽夫	川村 陽子	仁平 洋子	仲井 葉子	宇野 幸子
安 美千恵	菊池 千代子	根本 厚子	長山 久子	梅根 礼子
矢次 みつ江	北島 和代	根本 芳枝	匿名	海老澤 義三
矢内 明	木村 八重子 (茨城)	野崎 和紀	匿名	海老原 昭
柳林 宏美	木村 八重子 (水戸)	野澤 三喜雄	野村 恵美	大内 光浩
山内 恵子	桐原 由紀恵	畑岡 洋子	羽田 寧	大内 稔
山崎 まさ子	栗原 則子	原納 恵美子	藤沼 悟	大島 広明

大島 靖子	倉田 ふみ子	住谷 里子	永井 浩子	星野 智子
大武 茂樹	倉橋 大樹	住谷 央子	仲沢 修	細谷 美保
大竹 宏美	小澤 千恵子	瀬川 薫	中島 けい子	本間 彩香
岡崎 明美	小夙 紀生	関 昭彦	長沼 道男	眞家 千尋
岡田 直子	小関 一也	関 美津子	中村 英三	前田 理律子
小川 貴徳	小林 一雄	関 ゆかり	長山 悦子	正木 美恵子
落合 浩	小林 千代子(水戸)	関口 隆之	中山 紘一	益子 涉
小野 友子	小松崎 文	関口 操	長山 節子	町田 豊和
小野崎 佐知子	坂江 千寿子	関口 洋子	名雪 健一	松岡 峰夫
小又 裕司	坂本 藤太	仙波 昭一	新堀 博	水越 敏子
柿崎 香織	坂本 雅子	高瀬 竜一	西野 光範	宮原 進
葛西 戈実	桜井 民子	高野 真弓	二重作 清子	森 美代子
粕谷 定子	佐々木 季	高橋 淳子	根本 武	師岡 郁子
桂木 亜貴子	佐藤 和子	高橋 眞知子	根本 富也	矢代 富美子
桂木 由貴	佐藤 康子	高橋 靖子	野澤 政視	柳田 貴子
加藤 栄一	佐藤 洋子	田崎 馨	野呂 三枝子	山内 邦博
加藤 正子	佐藤 佳久	田所 久男	橋本 聖美	山口 通
加藤 嘉郎	三戸 三起子	田中 和子(埼玉)	長谷川 浩三	山野辺 知子
金田 由美子	柴里 緑	(継続)千葉 茂	長谷川 直子	横瀬 裕美子
亀田 洋子	島 貴代	津田 葵	長谷川 康子	横手 信行
鴨川 洋子	(継続)清水 敏成	寺門 晴美	早瀬 純子	吉田 恵一
川崎 昭	下条 立美	照沼 たか子	檜山 夏海	吉田 茂
川又 二三男	庄子 信	照沼 隆与志	広田 とみ子	吉成 麻実
川又 将国	吹野 洋子	東條 仁美	廣渡 正司	吉成 祐子
菊池 愛子	鈴木 康平	鍋田 汐美	藤田 盛夫	林 和生
菊池 慎太郎	鈴木 尚樹	富川 真衣	船橋 洋	渡辺 朋美
菊池 寿紀	鈴木 道子	富田 美佳	古澤 直江	和地 史明
草野 純子	鈴木 祐子	富永 友紀	古橋 弘子	
(継続)工藤 典人	須能 恵子	直井 芳晴	古平 良江	

■寄付講座への支援

1,000,000 円 株式会社 常陽銀行

■教育実践研究所の行う事業支援

30,000 円 (継続) 諸澤 篤子

寄付金のお願い

2009年11月より、諸澤幸雄奨学金制度の充実および継続的運営を目的とした、開学100周年記念事業募金が始まりました。皆様におかれましては、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

名 称	学校法人常磐大学開学100周年記念事業募金
目 的	諸澤幸雄奨学金制度の充実および継続的運営
使 途	<p>学生・生徒の経済的支援を目的とした給付型奨学金制度の充実および継続的運営</p> <p>諸澤幸雄奨学金Ⅰ種 (家計困窮者対象) 学校法人常磐大学の各学校正規課程に在籍する学生・生徒(幼稚園および休学者を除く)で、心身および学術がともに優れ、経済的に学業の継続が困難な者に対し、一定期間奨学金を給付する制度</p> <p>諸澤幸雄奨学金Ⅱ種 (家計急変者対象) 学校法人常磐大学の各学校正規課程に在籍する学生・生徒(幼稚園および休学者を除く)で、家計支持者(父、母またはこれに代わって家計を支えている者)の失職、破産、事故、死亡等または火災、風水害等により家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難な者に対し、一定期間奨学金を給付する制度</p>
募金の金額	ご寄付いただく金額は任意です。皆様のご厚情、拝謝いたします。
お申込み方法	振込(銀行) または インターネット申込によるクレジットカード決済

※記念事業募金のほか、通常のご寄付もお受けしております。

寄付金の申し込みおよび問い合わせ 学校法人常磐大学 寄付資産運用課

TEL. 029-232-2759 E-mail : kifu@tokiwa.ac.jp

寄付募集の詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://www.tokiwa.ac.jp/>

schedule

2010年度学事日程(7~9月)

月	日	内 容
7	3	日立市特別講座MUSIC COMMUNICATIONS 21
	8	(院)秋セメスター入学試験
	10	連続市民講座 シンポジウム編①
	16	(大・短)定期試験・補講期間(8/4まで)
	17	(大・短)7/20振替授業
	20	(高・幼)第1学期終業式
	22	(智)夏季休業
	24	(大・短)第2回オープンキャンパス
8	2	第10回アジア地域大学院コース —被害者学および被害者援助論—(8/13まで)
	5	(大・短)夏季セッションⅠ(8/11まで)
	7	連続市民講座 講演編③
	20	(大・短)第3回オープンキャンパス
	21	(大)AO入試第1回セミナー
	22	(短)AO入試1次審査
	23	(大・短)夏季セッションⅡ(8/25まで)
	25	(智)授業再開
	26	教育実践研究所シンポジウム(8/28まで)
	28	(大)スポーツ推薦セレクション(剣道・野球)1次審査
	29	(大)スポーツ推薦セレクション(野球)1次審査 (短)AO入試2次審査
9	1	(高・幼)第2学期始業式 (大・短)夏季セッションⅢ(9/7まで)
	4	(大)AO入試第2回セミナー
	15	(大・短)春セメスター卒業式 (院)春セメスター学位授与式 (院)秋セメスター入学式
	17	(短)履修ガイダンス
	18	(大)スポーツ推薦セレクション(野球・剣道)2次審査
	20	(大・短)授業開始
	23	連続市民講座 講演編④
	25	第3回開学100周年記念講演会 第4回オープンキャンパス
	27	(智)第2学期終業式

※諸般の事情により日程が変更になる場合があります。

編集後記

新年度が始まり、芽吹いたばかりの新緑が輝きを増してきました。今年度は開学101年目であり、次の100年に向けたスタートの年です。それに伴い常磐大学学報Toposも今号よりデザインを一新しました。これからも、さまざまな情報を皆さまにお届けしますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



information

2010年度読売新聞東京本社水戸支局・常磐大学連携事業

連続市民講座

テーマ：地域社会への包摂と教育の可能性

—たおやかな地域社会の再生に向けて—

〈講演編〉

第2回●6月26日(土) 金藤 ふゆ子 准教授

「改正教育基本法と学校、家庭、地域の連携による教育のあり方」

第3回●8月7日(土) 河野 敬一 教授

「伝統的地域社会の教育力」

第4回●9月23日(木) 渡邊 孝憲 教授

「いかに子どもと向き合うか、そしていかに自分と向き合うか」

〈シンポジウム編〉

第1回●7月10日(土)

コミュニティ振興学部 ヒューマンサービス学科

「これからの福祉のまちづくり～地域の包摂と排除をふまえて～」

【問い合わせ】常磐大学地域連携センター

TEL. 029-232-2652 FAX. 029-232-2861

水戸夕学講座

—時代の“潮流と深層”を読み解く—

スケジュール

●6月16日(水) 小池 龍之介

月読寺住職、正現寺副住職

「自己洗脳の震の外しかた」

●6月18日(金) 清水 浩

慶應義塾大学環境情報学部 教授、株式会社シムドライブ 代表取締役

「未来のクルマから現実のクルマへ～Eliica開発物語～」

●6月21日(月) 野口 吉昭

株式会社 HRインスティテュート 代表取締役

「コンサルタントの仕事術」

●6月29日(火) 遠山 正道

株式会社スマイルズ代表取締役社長(「Soup Stock Tokyo」開発・運営)

「世の中の体温をあげる」

●7月8日(木) 若田部 昌澄

早稲田大学政治経済学術院 教授

「危機の経済学」

●7月20日(火) 小倉 紀蔵

京都大学大学院人間・環境学研究所 准教授

「日中韓はひとつになれるか…文化・文明論的観点から」

●7月27日(火) 松本 健一

評論家、麗澤大学比較文明文化研究センター 所長

「日本の青春時代とは、何か ～『坂の上の雲』にふれて～」

【問い合わせ】

常磐大学エクステンションセンター

TEL. 029-232-2852 FAX. 029-232-2861